

大阪市 市長室
環境衛生保険局 殿
民 生 局

天皇来阪前段「狩り込み」阻止連絡会議

申し入れ書

私達は、堺植樹祭・奉祝パレード等、天皇在位六十年に伴う一切の奉祝行事に反対します。同時に、それに伴う一切の人権無視の「環境浄化」・予防治安弾圧に反対します。

第一点の理由は、「天皇」を再び「元首」化し、戦後民主主義解体政策・アジア・世界への再侵略政策の為の「国家統合の要」としての目的をもつてこの奉祝行事が行なわれようとしているからです。それは、貴実行委員会々長若槻氏の「天皇＝元首」発言にも表われており、到底許せることではありません。

第二点の理由は、古くは一九〇三年の勸業博覧会への天皇来阪の際、釜ヶ崎の前身「長町」の下層労働者の地域を、天皇の「お目が汚れないように」と、まるごと破壊し、現在の釜ヶ崎への排除・囲い込みを行なった事実、新しくは一九八三年の大阪城築城四百年祭の皇太子を迎えての御堂筋オーブニング・パレードノ為に、キタ・ミナミを中心に市内の野宿の日雇労働者・困窮労働者に対する「一大狩り込み作戦」を行なった事実等が示す如く、過去一貫して、皇族来阪の度毎に困窮して巷にあふれる野宿者・日雇に対して「狩り込み」(排除・隔離収容)を行ない、又、精神「障害者」に対して精神病院や家庭内への禁足を行なって来ました。

とくに大阪市は前述パレード前の「狩り込み」においては、民生局・環保局が、私達及び現場市職員の反対にも拘らず、警察に追従して幹部だけが「狩り込み」に参加した事実があり、去年は南署の健康相談のポーズの「狩り込み」に区民生課と保健所が加わった事実があります。

国連人権機関で非難をあげているように、宇都宮精神病院で沢山の労働者が「医療」の名において、虐殺され、「実験材料」にされたり、死ぬまでプチ込まれているような事が多くの精神病院の実態です。多くの労働者がこの「狩り込み」によって精神病院にいれられています。この事は、「狩り込み」がいかに「下層」労働者差別・「障害者」差別に満ちた、人権的配慮などカケラもみられぬ「強制的」「ご都合主義」「隔離収容」であるかをあらわしています。

私達は、「天皇」の名における侵略によって蹂躪されたアジア人民、日本の被差別人民と並んで、戦時強制徴用・抹殺された釜ヶ崎労働者・精神病院で餓死させられた「障害者」の立場において、当然、「天皇来阪」即ち、下層労働者差別・「障害者」差別の行事としてとらえています。

市当局は、この時期が「日雇いアブレ」の真只中であり、困窮日雇労働者の野宿が市内に溢れる時期である事は熟知する所でありつとも、これまで「見殺し政策」で困窮・野宿状態に放置してきました。それを、天皇来阪の時に限って、「福祉保護」のキャンペーンを持ちだし、「保安処分狩り込み」に参加する事は絶対に許せない。

私達はこれまでの市の困窮・日雇労働者差別・見殺し政策を糾弾するとともに、今回「狩り込み」に、絶対参加しないよう申し入れる。

猶、最近において各施設・病院に入所・入院した人で、「狩り込み」的強制・人権侵害の事実がなかったかについて、私達に面接調査をさせる事も併せて申し入れる。

一九八六年四月 日

天皇来阪前段「狩り込み」阻止連絡会議